

# キリンのかんさつシート

草原ゾーンにいるキリンを観察しよう！

## 行動をかんさつ！

見られたものに○をしよう

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ( ) 歩いていた        | ( ) 走っていた     |
| ( ) 動かなかった       | ( ) しっぽをふっていた |
| ( ) うんちをした       | ( ) おしっこをした   |
| ( ) 水を飲んでいた      | ( ) 草を食べていた   |
| ( ) 木の葉を食べていた    |               |
| ( ) 口をもぐもぐ動かしていた |               |
| ( ) その他          |               |

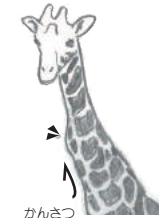


私が観察した  
キリンの名前

## キリンのはんすう行動をかんさつ！

エサも食べていないのに、口をもぐもぐしていたら、それははんすう行動です。

はんすう行動とは、いったん飲みこんだ食物をもう一度口にもどして、よくみなおしてから食べる行動です。



長い首に注目！よくみると、食べたものを胃から口にもどしているのが観察できるよ。

観察は、できた ・ できなかった  
あてはまる方に○をしよう

## 肢をかんさつ！

キリンの肢に○をしよう



★もようを描きいれ、色をぬってみよう！

首が長いとよいこと・こまることは何だろう？考えてみよう。

## はんすうする動物を探そう！

↓はんすうする動物に○をつけよう

- ( ) ヤギ
- ( ) ゾウ
- ( ) ウシ
- ( ) カンガルー
- ( ) カリフォルニアアシカ
- ( ) フラミンゴ

発見したこと

学校名

名前

## 先生用 アミメキリンのかんさつシートと解説

**ワークシートのねらい** アミメキリンの行動を観察することを通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、生活の中で、からだの特徴がどのように活かされているのか考えるきっかけとする。

### アミメキリン 偶蹄目キリン科

- ・エチオピア東南部からケニア北部に生息しており、数頭の群れで暮らしています。
- ・キリンは世界で最も背の高い哺乳類で、アミメキリンは3.8～4.7mにもなります。頭にはオスメスともに5本の角があります。指は、中指と薬指の2本で、蹄で覆われています。
- ・植物食で、野生では昼間に活動し、特に早朝と夕方には活発に行動します。長いと1日のうち18時間くらい食事をしています。主に、高い木の葉や枝を食べていますが、花や果実も食べます。鼻がよくきくので、好きな植物はにおいでさがしていると考えられています。アミメキリンは特にアカシアの葉が好きですが、季節や環境によってさまざまな植物を食べています。
- ・動物公園では、木の葉以外にも青草や乾草などを与えています。



### ■ キリンの長い首

キリンの特徴は、長い首。キリンの祖先は、からだも小さく、首も長くなかったと考えられています。そのころは、森に住み、木の葉を食べて暮らしていました。ところが、やがて森を出て、草原でくらすようになりました。草原は見晴らしがよく、広いので、敵に見つかりやすくなります。動物がそこで生きて行くためには、早く走ることができたり、からだが大きくなければなりません。そのため、キリンも早く走れるように肢が長くなり、体も大きく進化しました。さらに、草原でくらすようになると、首の長くないキリンは、水を飲む時に、前肢を折って、からだを大きくかがめなくてはならず、敵にも襲われやすかったのです。そのため、首の長くないキリンは絶滅し、首の長いキリンだけが生き残り、子孫を増やしてきたと考えられています。他にも、首が長いことで、他の動物がとどかないような高いところにある木の葉を食べることができます。また、背が高いので、遠くの敵を見つけることもでき、暮らす環境に適しています。

一方で、首が長いことで、血液を心臓から脳まで押し上げるのに高い圧力が必要となり、動物の中で血圧が最も高いのです。また、頭を上げ下げする時の急激な血圧の変化を防ぐため、ワンダーネットという網目状の毛細血管が後頭部にあります。さらに、首の血管には弁がついていて、血液が逆流しにくくなっています。ちなみに、長いのは首だけではなく、首の骨も長いのです。キリンも他の哺乳類と同じように首の骨は7つですが、首が長い分、1つの骨の長さも長くなっています。また、舌も40cmくらいあります。長い舌と柔軟性のある唇で棘のある木の葉を食べる時も棘を避けて食べることができます。



### ■ 反すう動物の特徴

キリンは、反すう動物です。キリンの主食である植物は、セルロースの細胞壁で覆われているため、消化が悪いのです。そのため、栄養を得るために、一度食べたものを胃から口にもどしてかみくだき、また胃に返して、胃の中にすむ微生物に草を分解してもらいながら、微生物を増やします。そして、その微生物や彼らの消化産物を栄養として消化吸収しているのです。つまり、キリンは胃の中の微生物に与えるために植物を食べ、増えた微生物を消化して栄養を得ているのです。キリン以外の反すう動物には、ウシ・ヤギ・ヒツジ・バイソン・シカ・ヌー・アンテロープ・ラクダ・ラマがいます。

### \* 飼育員のコラム 『キリンの獣舎』\*

キリンは大変背の高い動物です。夜間収容する建物の天井の高さが低いと頭がぶつかってしまうので、天井までは8mあります。また、展示場と建物を出入りする入り口もキリンが歩いてぶつからないように高さも6mあります。野生では高い木の葉などを食べています。食べ物は地面に置かれてしまうと前肢を広げ、首を下に曲げて食べなくてははいけないので、餌は高い位置につけられるようになっています。水の入ったコンテナも高い位置につけてあります。また、寒さに弱いため室内には、冬場、暖房器具が用意されています。収容時などに、時々立ち止まって遠くを見ていることがあります。私たちの高さからは見ることができなくても背の高いキリンには見えるようで、気になるものがあるとなかなか歩いてくれません。また、私たちがキリンと同じ高さにいるとキリンのことを下から見上げなくてははいけません。